

施工要領書

立て配管固定ソケット

アルミ冷媒配管用継手
アルミナジョイント



強制

- ・施工される方は必ず施工講習を受講してください。
- ・アルミナジョイントはアルミ冷媒配管専用の冷媒配管用継手で、指定サイズの管以外は接続しないでください。
- ・施工前には、必ずこの施工要領書をお読みください。
- ・管に使用する工具はアルミ管と銅管で兼用しないでください。



この記号は必ず実行して頂く「強制」内容です。



この記号はしてはいけない「禁止」内容です。

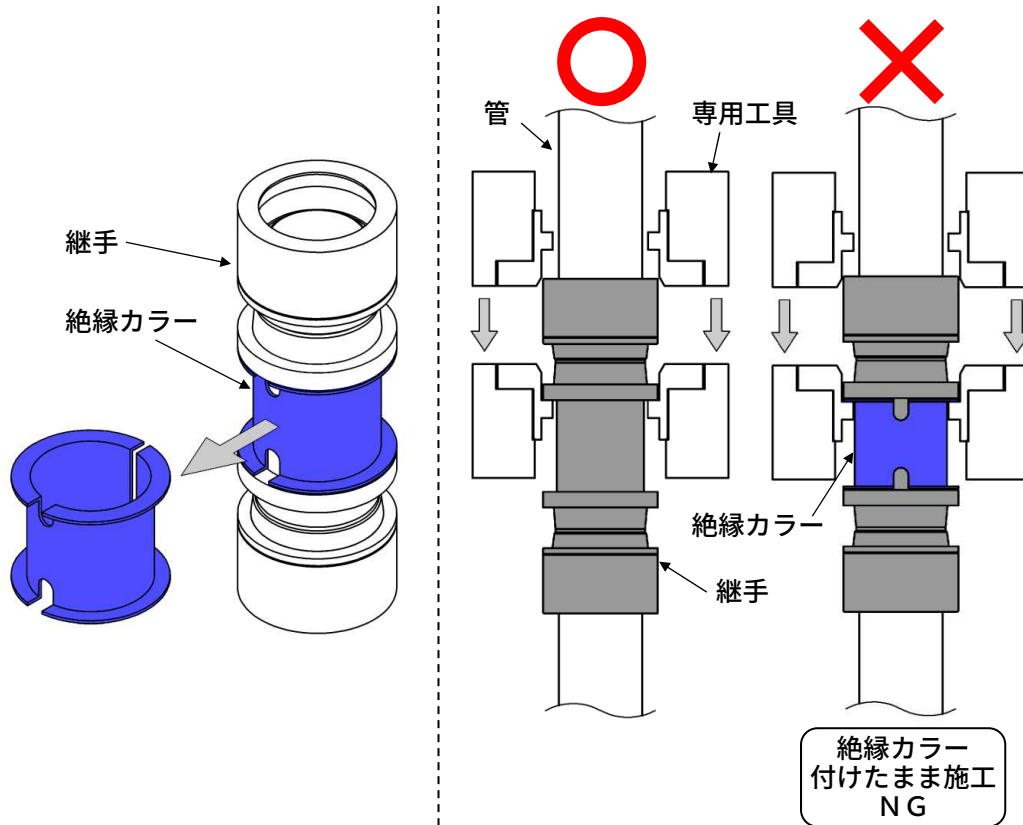


この記号は気をつけて頂きたい「注意喚起」内容です。

立て配管固定ソケットはソケット施工要領書の内容に従って施工し、管接続前と接続後には下記内容を必ず行ってください。

①【管接続前】絶縁カラーの取外し

- ①継手に絶縁カラーが付いている場合は、絶縁カラーを取外してから管を接続してください。



禁止

絶縁カラーを取付けたまま、管の接続を行わないでください。専用工具によって絶縁カラーが破損し、腐食の原因となります。

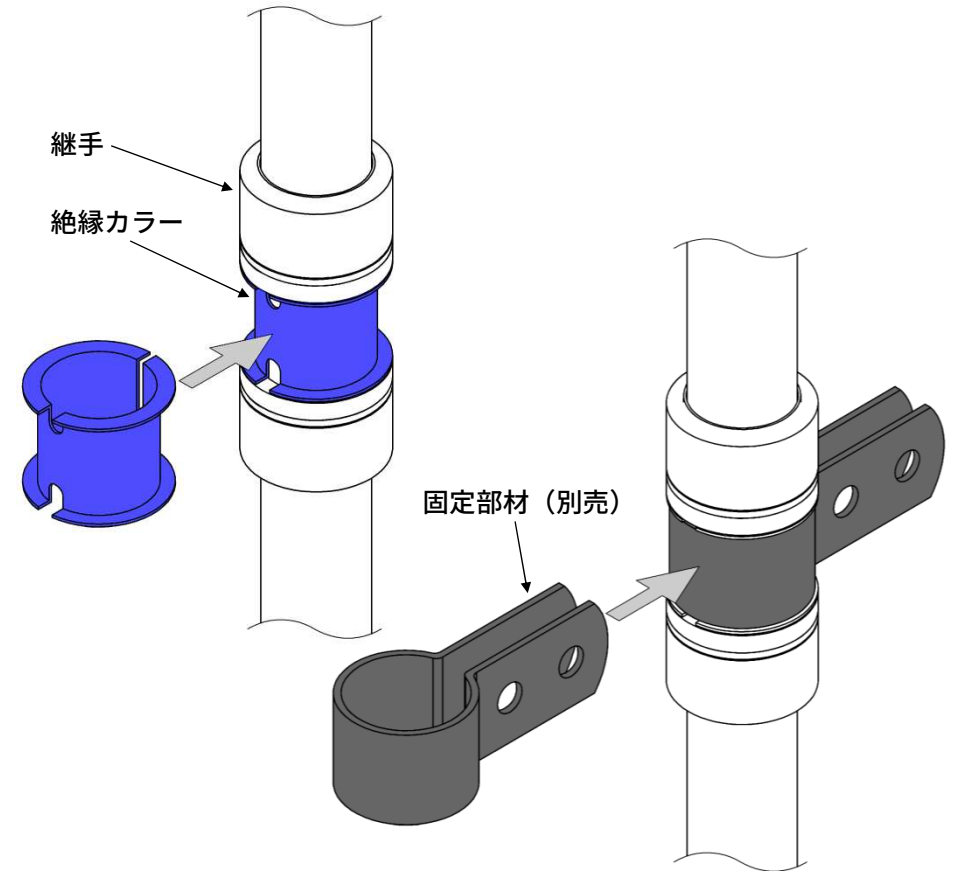


注意

絶縁カラーの紛失にご注意ください。

②【管接続後】絶縁カラー、固定部材（別売）の取付け

- ①管接続後、継手中央くびれ部に絶縁カラーを取付けてください。
②絶縁カラーを取付け後、絶縁カラーの上に固定部材（別売）を取付け、立て配管を固定してください（立て配管固定ソケットの取付け固定位置については次ページ参照）。



強制

絶縁カラーは管接続後、継手に必ず取付けてください。絶縁カラーを取付けずに固定部材を取付けると腐食の原因となります。

※立て配管固定ソケット 取付け固定位置について

①下図、下式を参考に、立て配管の伸縮対策や立て配管固定ソケットの取付け固定位置を適切に計画してください。

※立て配管の立上がり、立下がり部が熱伸縮により損傷が懸念される場合は、適切に処理・施工を行ってください

【施工参考例】



熱膨張による配管伸縮量の計算

$$\Delta L = \alpha \times L \times \Delta T$$

ΔL : 配管伸縮量(mm)

α : 線膨張係数($10^{-6}/^{\circ}\text{C}$)

コイル管 23.2

直管 23.4

※アルミ管

L : 元の長さ(mm)

ΔT : 温度差($^{\circ}\text{C}$)

施工要領の確認 (禁止事項)

氏名 _____

	禁止事項	理由	チェック
1	絶縁カラーを取付けたまま、管の接続を行わないでください。	専用工具によって絶縁カラーが破損し、腐食の原因となります。	
2	絶縁カラーを付けない状態で固定部材を取付けないでください。	絶縁カラーを取付けずに固定部材を取付けると腐食の原因となります。	

ソケット施工要領書の施工内容も併せてご確認ください。

※施工要領書の内容は、予告なく変更する場合があります。
最新版の施工要領書であることを確認して、ご使用ください。